

「事業名：飯館村環境放射線研修会」 2019年度事業の概要

大阪大学 連携市町村：相馬郡飯館村
現地拠点：相馬郡飯館村役場（2階 総務課内）

事業のポイント

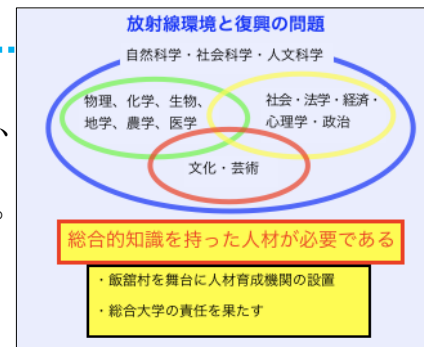
1. 大阪大学の学生を中心として、他大学からの学生も含め、環境放射線を題材とした総合教育を行う。総合的判断のできる人材を継続的に育成する
2. 山林での放射能の長期的拡散移動の研究を行う。
3. 世界中から研究者が常に訪れ、環境放射線関連の研究・情報交換ができるようにする。そのために大学の拠点を充実させる。

2019年度の活動内容

事前授業：飯館村での研修の前に大阪大学において15コマの講義を行う。
講義内容は放射線お物理、化学、生物への影響などと共に人文的な関連知識や環境との関係、どのようにして放射線の関連法が作られるかなど総合的な基礎知識を学ぶ。

飯館村での放射線研修会：1. 環境放射線に関する偏りのない幅広い科学的な知識を与える。
2. 環境放射線を現場で体験し、その実態を正しく理解する。
3. 飯館村民はじめ様々な人たちと交流し、多様な意見を聞き、議論する機会を与える。
4. 学生一人一人が自らの頭で考え行動していく力を与える。

環境放射能の移動に関する研究：山林土壌中の放射能の変化、樹木や木葉などに放射能が含まれるのかまたそれは循環するのか、山林と平地との境目にどのように放射能が流れ出していくのかどうかの長期観測



2018年度研修での、飯館村内の畑の土壌採取後の集合写真

取り組みによって得られる成果

1. 放射線とその環境への影響について正しい知識を持った人材を育成できる。
2. 環境に放出された放射性物質の長期的な移動の様子を知ることが出来今後の土地利用のための知識の一つとなる。

